



Bonne Collection

頭蓋骨

Skulls



生物の特徴や種類を頭蓋骨で見分けよう

VR・AR・3D image

観る・知る・学ぶ

骨の図鑑シリーズ

PHOTO STUDIO Y's

監修 nature works



ヒグマ Brown bear *Ursus arctos*

哺乳綱 食肉目 クマ科 クマ属



生態と特徴

国内では北海道のみに生息。日本に生息する陸棲哺乳類の中では最大種である。体長はオス200cm・メス150cm、体重はオス150~400kg・メス100~200kg。昼夜問わずに行動できる視力を持ち、数10m先の臭いを嗅ぎつける。時速50kmと足が速い。冬眠中は何も食べないが、春~秋は植物や木の实、果物などを餌とする。地域によってはサケを食べる。群れを作らず単独行動、もしくは親子で生活している。

害獣としての問題

被害の55%は山菜・きのこ採りで発生。次いで山林作業13%、農作業7%である。夏場は餌が少なくなるため、農作物の被害が発生しやすい。そのため、北海道では人間とヒグマの共存を目指して「北海道ヒグマ管理計画」を推進。豊かな自然を代表する野生動物としてヒグマの地域個体群の存続を図りつつ、人身被害の防止、人里への出没の抑制、農業被害の軽減を図っている。

※参考文献
北海道の生物多様性ポータルサイト
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/tayousei/tayousei_top.html

ヒグマ頭蓋骨 VR AR 3D image

他の食肉目と違い、奥歯が鋭くないのはドングリナなどの木の实を擦り潰して食べる雑食に進化したため

食肉目(ネコ目)特有の鋭く大きな犬歯

顎の力は金属に穴が開くほど強力

前の歯と奥の臼歯の間隔が広い



VR



AR



3D image



⇨ AR: 最初にQRコードを読み取りカメラにアクセスして下さい。

VR・3Dimage: スマートフォン/タブレットQRコードを読み取り下さい。

エゾシカ Hokkaido Sika Deer *Cervus nippon yesoensis*

哺乳綱 鯨偶蹄目 反芻亜目 シカ科 シカ属



生態と特徴

ニホンジカの亜種で、北海道のみに生息。ニホンジカと比較すると、体が大きくがっしりとしている。オスであれば、体長190cm、体重150kgに達するものもいる。明治初期の大雪と乱獲により、一時は絶滅寸前にまで生息数が減少。しかし、禁猟など保護政策を講じて、個体群を維持するまで生息数が回復した。高い繁殖力と生息環境の変化により、現在は急速に分布域を拡大し、生息数が増している。

害獣としての問題

強度の採食、硬い爪による踏み付けなどで生態系への影響が深刻化。農林業や畜産業への被害、交通事故の増加など人間への影響も大きい。2014年3月に制定した「北海道エゾシカ対策推進条例」に基づき、捕獲等による個体数の管理、ジビエ料理に利用するなど捕獲個体の有効活用を推進しながら、計画的にエゾシカ対策を進めている。生物多様性の保全を鑑みてエゾシカの絶滅を回避しつつ、持続可能な利用を図っている。

※参考文献

北海道の生物多様性ポータルサイト

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/tayousei/tayousei_top.html

エゾシカ頭蓋骨 VR AR 3D image

周囲をよく監視できるように
目(眼窩)は側面にある

生まれた年には角が生えない。
翌年になると小さな角が生えてくる

上顎には門歯がなく、刈り取った
草木などを調理するまな板状
になっている

硬い木の皮でもすり潰せる
丈夫な大白歯と小臼歯

下顎の門歯は草を刈り取ったり
木の皮を剥ぎ取るのに適している



VR



AR



3D image



⇄ AR: 最初にQRコードを読み取りカメラにアクセスして下さい。

VR・3Dimage: スマートフォン/タブレットQRコードを読み取り下さい。

ヌートリア *Nutria Myocastor coypus*

哺乳綱 齧歯目 ヌートリア科 ヌートリア属



生態と特徴

原産地は南アメリカ。頭胴長は40～60cm、尾長は20～30cm、体重は5～8kgである。半水生で、湖沼や河川などの岸辺に巣穴を掘って生息している。全身が茶褐色の体毛に覆われ、長い円筒状の尾を使って上手に泳ぐ。門歯は大きくオレンジ色をしており、白く長いヒゲが特徴的。前脚を器用に使って物をつかんで食べ、後脚には水掻きがある。生後半年で性成熟し、年数回・1回5～6頭を出産するため、繁殖力はかなり高い。

特定外来生物としての問題

水田地帯では畦に巣穴を掘るため、畦が崩れ落ちて漏水する被害が生じている。基本的に草食性で、水辺の草本や農作物を食害するという点で問題視されている。農作物の被害は水稻の食害が最も多いが、食性は非常に幅広く、多数の植物種を餌資源として利用するため、多くの野菜が被害の対象となっている。また、イシガイ科の二枚貝を捕食する被害が各地で生じており、生態系に大きな影響を与えているのではないかと懸念されている。

※参考文献

環境省 特定外来生物の見分け方 (同定マニュアル)

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual.html>

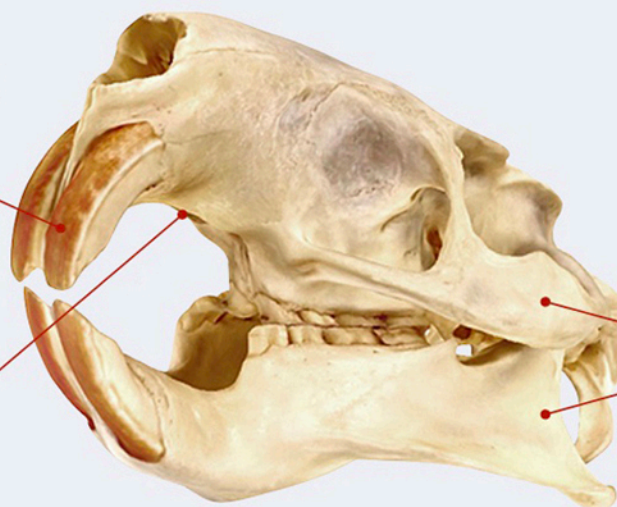
農林水産省 ヌートリア

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozuyu/higai/manyuaru/old_manual/manual_tokutei_gairai_old/data5.pdf

ヌートリア頭蓋骨 VR AR 3D image

オレンジ色のエナメル質の門歯は、いつも物をかじっているため、すり減って来るので一生のび続ける

口をしっかり閉じるための歯隙



噛みついたり引っ張ったりする顎と、首の筋肉を固定する広い部分



VR



AR



3D image

⇐ AR: 最初にQRコードを読み取りカメラにアクセスして下さい。

VR・3Dimage: スマートフォン/タブレットQRコードを読み取り下さい。